

次号予告

特集 卒後教育・臨床教育

我が国における PT の卒後教育 ... 慶応大月が瀬リハセンター	溝呂木 忠
我が国における OT の卒後教育.....都心障センター	古川 宏
臨床実習のあり方・総論.....	福屋 靖子
臨床実習における学生の評価の統一化.....九州労災病院	山口 鞠音
臨床実習における試み	

その1 Supervisor の評価/その2 臨床実習ノート

.....有馬温泉病院	奈良 勲・他
<随想> 私の卒後教育.....青森県黒石市立病院	三浦 時男
私の臨床実習法.....北里大学病院	松瀬 多計久
私の臨床実習法.....東京女子医大	比留間 ちづ子
アメリカの大学院教育.....府中リハ学院	森 永敏博
アメリカの大学院教育.....清瀬リハ学院	宮前 珠子

とびら	熊本労災病院	井戸 朝徳
講座 教育学シリーズ 1. 理学療法教育論.....	有馬温泉病院	奈良 勲
プロGRESS 手の外科.....	新潟大学	田島 達也
職業リハビリテーション.....	身体障害者雇用促進協会	松井 亮輔
Recommended Readings (理学療法部門) 解剖学.....	愛宕病院	嶋田 智明
(作業療法部門) OT 総論.....	清瀬リハ学院	矢谷 令子

編集後記

今年もあと残すことわずかとなり、本誌も12号をお届けいたすことになりました。

今回は「理学療法と作業療法とバイオメカニズム」というテーマで、この方面に造詣の深い方々に執筆をお願いいたしました。テーマが広い範囲で総論的なためか、各先生方、御苦労なさったようです。しかしながら、各論文とも、バイオメカニズムの流れをとともわかりやすくまとめられています。

座談会でも PT・OT の先生方が「得意の分野ではない」とおっしゃっていますが、PT・OT にとっては密接でありながら、バイオメカニズムを理解し実践に生かしていくというところまでは、なかなかむずかしいようです。

運動学シリーズ VII. 「姿勢と体幹・頸の運動学」は今回が最終回です。講師の柳沢

先生には各回とも短いスペースの中で簡潔にお書きいただき、ありがとうございました。

さて、第2回「理学療法と作業療法」賞の入賞発表は、11号でお知らせいたしました。本号で掲載いたしました。

入賞：「重度CP児の下肢でのADL訓練の経験」齊藤氏・他、準入賞：「進行性筋ジストロフィー症のADL推移 (F.S.H. Type と L-G. Type について)」野々垣氏・他、両論文とも、細部まで調査し報告なさっており興味深いテーマと思います。

第3回「理学療法と作業療法」賞・懸賞論文テーマも近日中に誌上にて発表いたします。来年も、多くの方々の応募をおまわいたしております。

来年も今年と同様「理学療法と作業療法」を御愛読、御支援、御指導下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

(編集室)

<編集顧問>

天児民和
九州労災病院長

五味重春
筑波大学心身障害学系教授

砂原茂一
国立療養所東京病院長

津山直一
東京大学教授・整形外科

水野祥太郎
川崎医科大学学長
(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上田敏
東大リハビリ部

荻島秀男
都養育院リハビリ部

佐藤肇
神奈川リハセンター

鈴木明子
府中リハビリ学院

谷岡淳
自治医科大学

寺山久美子
都心障センター

福屋靖子

松村秋
都養育院リハビリ部

<編集同人>

明石謙

大井淑雄

大川嗣雄

大橋博

鎌倉矩子

紀伊克昌

小林夏子

駒沢治夫

佐藤剛彦

田原澄彦

富岡詔子

奈良勲

藤沢しげ子

藤本欽也

前田守子

松本妙子

矢谷令子

山下隆昭

横山巖

和才嘉昭

(担当 細田・西塚)